

補綴歯科の専門性

20210616版

症型難易度分類

Level I

Level II

Level III

Level IV

対象症例

歯質欠損 - Cr

歯の欠損 - Br

- PD

- FD

- Implant

顎顔面欠損

- 顎顔面補綴

米国補綴歯科専門医との
整合性

Fixed prosthodontics

Removable prosthodontics

Implant prosthodontics

Maxillofacial prosthodontics

難症例の病態

顎顔面欠損（腫瘍等）

著しい顎堤吸収

すれ違い咬合

咬合平面の乱れ

咬合崩壊

低位咬合

摂食機能障害（脳梗塞等）

口蓋裂

全顎的審美障害

ブラキシズム（歯ぎしり）

顎機能障害（顎関節症）

睡眠時無呼吸症候群

専門性の高い臨床技能による 難症例への対応

顎顔面補綴（顎義歯、分割義歯、エプテーゼ）

フレンジテクニック、ダイナミック印象
オルタードキャスト法

ゴシックアーチ描記法 チェックバイト採得法

フルマウス・リコンストラクション

咬合挙上 FGPテクニック

舌接触補助床、軟口蓋挙上装置、スピーチエイド

Hotz床

ラミネートベニア法 接着ブリッジ

睡眠時歯科筋電図検査による診断・治療

歯ぎしり用口腔内装置 顎関節治療用口腔内装置

いびき用口腔内装置（スリープスプリント）

認定研修機関での研修
（5年以上）

※広範囲顎骨支持型装置、
摂食機能障害は
必要に応じて専門医に紹介できる。

●中長期的な全顎的歯列・咬合管理

●食べる機能の数値化による補綴歯科治療の質保証